

NEDOのグリーンイノベーション基金事業で「CUCO®-大型張りブロック」を試適用

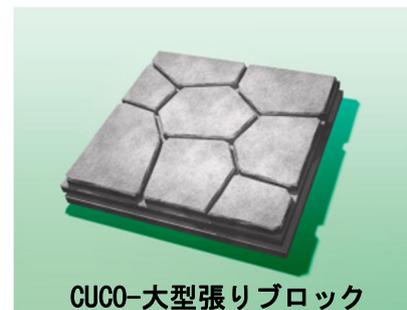
ランデス株式会社（代表取締役：大月隆行）は、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）グリーンイノベーション基金事業「CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト」を実施するコンソーシアム「CUCO®（クーコ）」※に参画し、2030年までを目標に革新的カーボンネガティブコンクリートの開発を推進しています。

この度、当社は一般的な製品に比べてCO₂排出量を大幅に削減したCUCO-大型張りブロックを製造し、当製品が神戸市発注工事において適用されました。これにより、本工事では一般的な製品が使用される場合に比べて約1,400kgのCO₂削減となりました。当社は、設置された製品を長期モニタリングし、得られたデータを研究開発に反映させることでCO₂削減コンクリートの社会実装を進めていきます。

※鹿島建設株式会社、デンカ株式会社、株式会社竹中工務店を幹事会社とする55の企業・大学・研究機関によるコンソーシアム

【工事概要】

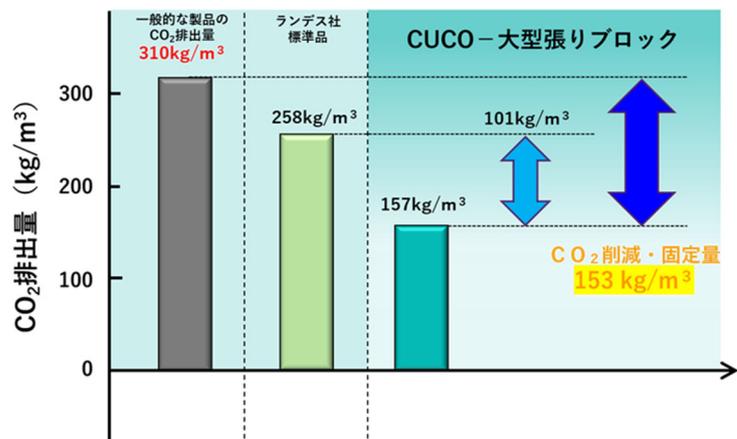
工 事 名： 明石神戸宝塚線道路防災対策工事
 工 期： R6.6.17～R.7.3.31
 対 象 製 品： 大型張りブロック（1m²/個）
 数 量： 78m²（78個）
 モニタリング対象期間： 設置後-2026年度まで



【成果の概要】

CUCO-大型張りブロックは、従来の製品に比べて高炉スラグ微粉末の割合を増やし、セメントの使用量を削減することでCO₂排出量を大幅に削減しました。さらに、製品製造時に炭酸化養生を施すことで製品にCO₂を固定しました。その結果、一般的な製品に比べて、CO₂削減・固定量は製品1個あたり約18kg（コンクリート1m³あたり約153kg）となりました。

本工事において、一般的な製品をCUCO-大型張りブロックに置き換えたことにより、CO₂削減量は約1,400kgとなりました。当社は、今後もさらなるCO₂排出量の削減と持続可能な未来に貢献する革新的技術の実用化を目指してまいります。



一般的な製品と比較したCO₂削減効果

【製造状況】



練混ぜ・打設



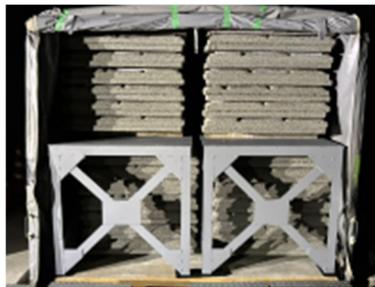
締固め・成形



即時脱型



前養生



炭酸化養生



完成

【施工状況】



施工中



施工完了

◆ランドス株式会社ホームページ

<https://www.landes.co.jp/>

◆CUCO ホームページ

<https://www.cuco-2030.jp/>

<報道機関からのお問い合わせ>
ランドス株式会社

電話：0867-52-1141(代)